

新幹線飯山駅からの 2次交通は



水野英夫議員

【質問】新幹線開業に伴う2次交通の計画はどの程度進んでいるか。
【答弁】8月26日に長電バスと共同発表した通り進めている。
【質問】新幹線に対する期待は、各自治体によって温度差がある。野沢は直通バスを運行し赤字の場合に補填する。木島平は車両運行を決め、ワゴン車の購入を検討とのこと。飯山市はどうするのか。今回実験的に行う周遊バスのような季節により目的地を変えて運行すべきでは。
【答弁】観光の二次交通もあるのでケースごとに検討したい。
【質問】野沢や木島平からはある種の覚悟みたいなものが感じられる。



新しい飯山線ホーム

飯山市はどうか。

【答弁】採算があるので躊躇してしまっているところもあるが、チャレンジしていきたい。
【質問】観光を重要な産業と位置づけるなら、野沢などと同じスタンスが必要では。
【答弁】内容に応じて対応したい。
【質問】来年4月から大型バスの料金が7割ほど上がる。現在、年間600台ほどの大型バスを利用した教育旅行があり、大きく影響を受ける。国県に至急働きかけが必要ではないか。
【答弁】国県への補助金等の支援の要請、具体的支援を努力していきたい。

【質問】この地方では冬のスキー客は圧倒的にバスによる学生が多い。料金的な競争力がなくなれば、スキー客が激減する恐れがある。
【答弁】対応策を検討していきたい。
【質問】国民健康保険税の資産割の割合が飯山市は高いのではないか。
【答弁】県単位でまとめる議論もあるのでその中で検討したい。

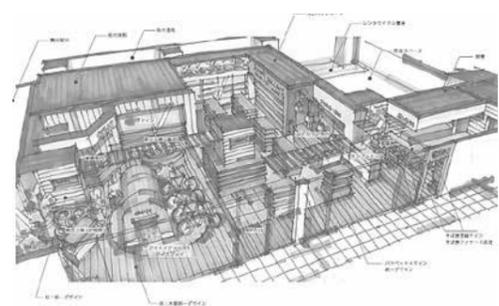
用品のレンタル、ショールーム、モビリティエリアの紹介等を事業とし、工事費は2000万円ほど。

スライド条項と 補正予算について



石田克男議員

【質問】(仮)飯山ぶらぎ建設費増額、2億5000万円の補正予算案(債務負担行為)を9月議会に提出した。理由は何か。
【答弁】(仮)飯山ぶらぎ建設の契約では、受注者側が労務単価や資材価格の上昇を発注者側に請求できる「スライド条項」を盛り込んでいる。物価の上昇などにより、労務や資材の上昇に適切に対応が必要と判断し、債務負担行為の増額を行いたい。市・監理業者・施工業者の協議を重ね、無駄のない施工に心掛けているが、変更債務負担行為の範囲内で努力したい。
◆山岳高原アクティビティセンターについて
【質問】北陸新幹線飯山駅高架下に建設予定の「山岳高原アクティビティセンター」の建設目的、事業内容、工事費等について伺いたい。
【答弁】長野県と連携をし、ハイキング、カヌー、トレイル等のアウトドアスポーツの聖地をめざし、長野モビリティの新しい旅のスタイルを提案し、信越自然郷広域エリアの誘客の促進をめざすアウトドア



山岳高原アクティビティセンター
完成予想図

◆児童館・児童センターの利用条件について
【質問】市内の児童館・児童センターで重度の障がいを持つ児童の放課後、受け入れてもらえるところがあるか。
【答弁】現在市内にはない。しかし現況は厳しいが、広域的な観点から今後の検討課題かと思う。

【質問】ふるさと納税の特典メニューの中に飯山日赤での人間ドックがあるが利用状況はどうか。
【答弁】予約を含め13名の利用あるいは申し込みがある。
【質問】医師招聘推進事業の利用状況と実績はどうか。
【答弁】平成23、24年度に各1名利用。平成25年度から利用がない。
【質問】医師を目指す学生への奨学金の利用実績はどうか。
【答弁】平成24年度から制度化したが、利用者はまだいない。
【質問】医師確保のため、飯山日赤と大学等への訪問を行うべき。
【答弁】富山大学、信州大学等に病

飯山日赤について



渋川芳三議員

院長と伺うことを予定している。
【質問】地域包括ケア病棟とはどのようなものか。
【答弁】在宅復帰に向けて医学的な管理やリハビリ等を行うことを目的とした病棟。幅広い利用ができる病棟と聞いている。
【質問】近隣自治体を含め飯山日赤の経営に対する助成を検討すべき。
【答弁】まずは医師確保のための支援を行っていく。
◆(仮)飯山ぶらぎについて
【質問】なぜ債務負担行為の限度額の増額を求めるのか。
【答弁】契約以降の資材・労務費の上昇分、仮設足場や冬期間施工等の適切な施工条件設定及び建設工事進捗に対応するためのもの。
【質問】現時点での竣工の見通しは。
【答弁】ほぼ遅れなく完成すると聞いている。
【質問】開館の時期は。使用料等はいつごろに決めるのか。
【答弁】平成27年中の開館を目指す。運営・利用方法は検討中。使用料は3月定例会に条例案として提出したい。



飯山日赤

人形館と回遊性の 町づくりについて



山崎一郎議員

【質問】人形館が開館から約4年半で、61万人もの来館者となっている。来館者の動向を調査しその思いを回遊性の町づくりに活かす対策が重要に思うが。
【答弁】ご指摘の通り、来館者の思いの中に回遊性のヒントがあるので、思い出のノートを設置し定期的に内容を把握している。
【質問】回遊性の町づくりが言われて久しいが、具体的な取り組みが見えてこないとの指摘があるが。
【答弁】仁王像の設置、回遊ルート沿線の公共空間の整備、城址公園やミニ公園の整備と案内看板の設置等をスタートさせた。
【質問】城下町飯山には、弓町・鉄砲町・肴町等の地名が残っている。案内看板等を設置し回遊性の町づくりに活かすべきと思うが。
【答弁】城址整備だけでなく、町内に残る歴史的部分を多面的に活用することは重要なことだ。
【質問】正受庵も重要だ。環境整備の必要を感じるが。
【答弁】正受庵は臨済宗の禅道場として重要な場所である。それにそつ



正受庵禅道場も飯山の大切な宝物で回遊性の町づくりに活かすべきだ!

た整備が大切だ。
【質問】回遊性を実現するには、人形館の2号館を沿線に設置することを提案するが。
【答弁】大変面白い提案だ。実現出来れば確かに回遊性につながると思う。今後の検討事項としたい。
【質問】移住・定住対策に若者会議を設置するようだが、雪をマイナスにしか受止められない地域の者だけでなく、プラスに受止められるヨソ者の参加も必要に思うが。
【答弁】大変重要な指摘だ。現状の殻を破って新しいものを作っていくには、確かに広い考えの者が建設的に議論することが必要だ。

新幹線と二次交通の 取り組みを！



渡邊吉晴議員

【質問】北陸新幹線開業まで5カ月ほどとなったが、飯山駅から広域観光地等への二次交通は、お客様が長い待機時間もなく安心して目的地へ行くことができるようになることが重要と思うがどのような計画が進められているのか。また、斑尾高原線は現在のコミュニティバスと聞くと、12時から16時の間で15時ごろにあればいいとの声も聞くがどうか。

【答弁】野沢線は2台によるシャトルバス運行、木島平線は小型のワンボックス等を検討中、中野方面は長野電鉄による路線を検討中、斑尾高原線は、現在のコミュニティバスと長野電鉄による斑尾からタングラム経由で妙高線を計画。新幹線開業になるとダイヤは変わるが、斑尾高原からは外国人が多くなっている中で夜のバスをとの要望もあり、今年の冬から取り組んでみたいと考えている。また、飯綱高原および黒姫高原方面は現在考えていない。

【質問】この地域は宿泊施設が多いため、長期宿泊型をなるべく考え、観光代理店だけではなく、JRへの情報発信も進めている。

【質問】飯山駅をバスターミナル式にし、お客さまがどこに宿泊しているか、飯山駅に来たら安心してどこへも行くことができるようにするべきと考えるが。

【答弁】周遊バスは別として、外国人観光客が多くなるため、どこか観光地および方面は何番というように番号をわかりやすくつけておき、お客さまが迷うことなく目的地へ行くようにしたいと考えている。案内所でもわかりやすく案内をする。



新幹線飯山駅 斑尾口

安心安全な 地域の構築を



西條豊致議員

【質問】千曲川樽川の防災で木島側、常盤側での河かけがひどい。小沼沖の中州の除去の計画予定は。

【答弁】中州除去は昨年、砂利採取業者の意向を確認し、実施に向け調整したが採取法等検討しており、河川管理者として実施に向け調整する。



千曲川浸蝕状況 木島側

【質問】10月17日開催の北信圏域河川整備計画の内容はどうか。

【答弁】河川法に基づき県が策定する。今後30年の河川整備の策定であり、飯山市では下境、桑名川の築堤と野沢温泉村および栄村の2カ所の築堤の計画をしており、湯滝橋下流は国の管理であり、その浚せつは、戸狩狭窄部の掘削の結果を見ながら検討したいとのこと。

【質問】中央橋上流の千曲川護岸は。

【答弁】河川の巡視により状態等を把握し、必要に応じ対策する。

【質問】樽川橋下流の浚せつは終了したが、上流の浚せつ計画と大川の改修進捗状況、今後の計画は。

【答弁】樽川橋上流馬曲川合流点までは測量が終了しており、予算の状況を見て実施する。大川の改修は引き続き今年実施する。

【質問】道路行政について、403号線中央橋から木島平については。

【答弁】この道路は新幹線飯山駅からの重要道路として位置づけられており、現中央橋撤去後、早期に改修すべく、協議会を通し県に要望する。また、平成28年度に都市計画道路の決定を協議する。

【質問】木島地区市道の交通死亡事故について、道路管理者の対応は。

【答弁】バイクの一時不停止が原因で路面の白線等の標示を実施する。

【質問】堆肥センターについて。

【答弁】ストック棟でのたい肥製造は県の許可で巡回等注視していく。

高齢者の見守りネット ワークの構築について



小林初子議員

【質問】当市における高齢者世帯は約1500世帯。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすには地域での支え合いと見守りネットワークの構築が必要。災害時支え合いマップは市内56区で作成されているが、平常時における住民支え合いマップは作成されていない。今後必要ではないか。

【答弁】検討課題としてとらえている。

【質問】認知症等の介護者の負担軽減は行政で取り組むべき重要な課題。家族間の交流や悩みの共有、認知症への理解を呼び掛ける場として認知症カフェの開設を。

【答弁】県内等他市を参考に検討。

【質問】小中学校における認知症サ



認知症は病気だけど自分にも出来る事があると思った(常盤小6年 講座より)

ポーター養成講座開催の推進を。

【答弁】今年度は常盤、秋津、泉台小で開催予定。多くの学校で開催できるように協力要請を行っていく。

【質問】徘徊者の行方不明対策について。中野市では昨年からの地元タクシー会社等と連携して「あつたか見守りネット」を開始。御代田町では徘徊模擬訓練を実施することで、認知症への理解や関心が高まっている。当市においても対策を考えていくべきではないか。

【答弁】中野市の事例を参考にシステム導入について検討していく。

◆ひきこもり対策について

【質問】ひきこもり対策の先進地として、秋田県藤里町の取り組みが注目されている。行政と社会福祉協議会、地域住民が一体となつてひきこもりの若者への就労支援を進め、その若者たちを中心に町おこしに挑戦している。当市においても同様な事業ができないか。

【答弁】将来における生活困窮者、就労困難者の実態把握について現在検討を始めている。居場所作りも含めて検討していきたい。

一人ひとりが大事に される教育改革に



高山恒夫議員

◆市政運営について

【質問】市長選の結果をどう見るか。

【答弁】それぞれ市民の皆さんが飯山市を発展させたい。との願いは一緒である。一丸となった取り組みを進めていきたい。

【質問】政策の実現は、いつまでにどこまでやるかを示すべきではないか。

【答弁】公約の実現には、施策の事業化、掛かる経費の予算化、スケジュール設定が大事と考える。スピード感を持つて具現化したい。

◆教育委員会制度改正について

【質問】制度改正で新たに設置される「総合教育会議」の役割は。

【答弁】市長と教育委員会のメンバーで構成され、教育施策大綱の作成、児童生徒の安全対策等必要に応じた協議がされる。

【質問】教育行政にどこまで踏み込むかはとても重要なこと。議事録の公開は。

【答弁】会議は公開だが、議事録の公開は努力義務である。総合教育会議の中で判断される課題である。

【質問】新教育長制度移行時期は。

【答弁】現教育長の任期は平成28年10月である。任期までは現体制が認められている。新制度の内容を確認し移行時期を検討したい。

◆通級指導教室について

【質問】各学校への巡回指導ができれば保護者の負担が軽減される。通級担当教諭の増員見直しは。

【答弁】市町村教委連絡協議会等を通じ県へ要望していきたい。

【質問】特別支援制度などに市長の積極的関与を期待している。

【答弁】一人ひとりの子どもが最大限に自分の能力を活かせることが一番大事。そのための環境を整えていく。教育委員会と連携を図りながらしっかりと取り組みたい。



感性豊かにかがやく発表会

2期目の

足立市政について



上松永林議員

ふるさと回帰支援事業

について



望月弘幸議員

【質問】2期目への思いは。
【答弁】飯山を良くしたいという思いは共通。市民と共に新幹線を活用した経済対策・まちづくり・若者定住・次世代育成・安心して住める地域づくりを目指す。

◆学校との提携について

【質問】文化学園との協定内容は。他に協定を結ぶ学校は。内容は。
【答弁】文化交流・産業振興・教育・学術研究で協力。信州大学とは文化財保護等で連携。

【質問】来飯9年目となる法政大学「小島ゼミ」への対応は。
【答弁】ゼミの研究テーマと承知。情報提供をしてきた。

【質問】来飯9年目となる法政大学「小島ゼミ」への対応は。
【答弁】ゼミの研究テーマと承知。情報提供をしてきた。



埼玉県川口市駅前商店街で飯山市のPR、農産物の販売

【質問】多く事業を行っているが。
【答弁】職員も個人の立場で参加。
【質問】市内で活動している学校の横の連携調整が必要では。
【答弁】気運が高まれば実施。

◆経済対策について

【質問】経済対策を聞きたい。
【答弁】市制度資金の見直し等。

◆このとり支援事業について

【質問】事業内容と利用状況は。
【答弁】不妊治療への補助金。平均年2名弱、10万円余の利用。

【質問】必要な事業、周知が必要。
【答弁】努力したい。

【質問】他の支援事業も周知を。
【答弁】市報等で行っている。

◆旧公共施設跡地利用について

【質問】旧「柳沢保育園・外様中学校・西大滝分場」除却後利用は。
【答弁】売却・検討中・地元。

◆国際交流事業について

【質問】豪州との交流の実施状況は。
【答弁】訪問準備は終了し調印予定。派遣学生は決定。隔年で相互に訪問したい。国際的視野を持った飯山の若者育成が目的。

子育て支援について



渡辺美智子議員

【質問】子育て支援システムの条例によって変わることは何か。保護者、職員への説明は。
【答弁】保護者から見て大きな変化はない。10月の市報および保育園を通じて周知していく。

【質問】放課後児童育成事業の基準によると、小学校に就学している児童となっている。6年生まで対象になるか。
【答弁】来年4月から施行されると6年生まで対象になる。

【質問】保育料はどのようになるか。市独自の軽減措置は継続を図る考えはあるか。
【答弁】現状を上回らないことを基



運動会「エイエイオー」

本としたい。市独自の軽減は継続。

【質問】市長の公約に1歳からの保育や長時間保育の延長、病後児保育、休日保育が公約されている。これはいつから進めるのか。
【答弁】病後児保育以外、来年度から実施したい。どの園で実施するか検討していく。

【質問】子育てしやすい飯山市を掲げ、保育料無料を年長児全員に拡大出来ないか。
【答弁】実施の考えはない。

◆国民健康保険税について

【質問】基金が底をつくからと昨年から2割増税された。しかし基金は25年決算で2億3900万円余。この基金で1世帯当たり年間1万円の減税が出来ないか。
【答弁】かなりの負担と認識している。医療費が高い水準で推移しているので基金の取り崩し額も増加。これを取り崩すことは難しい。

【質問】国保世帯数と軽減を受けている世帯数は。
【答弁】世帯数3447世帯、うち7割軽減961世帯。5割軽減528世帯2割軽減430世帯になっている。

請願 審査

◆請願第11号 《不採択》

◆請願第11号 《不採択》
集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願
請願者 飯水岳北9条の会
代表世話人 高橋彦芳

◆請願第12号 《採択》

◆請願第12号 《採択》
手話言語法等の制定を求める請願
請願者 飯山聴覚障害者協会
会長 本木匡弘他4名

◆請願第13号 《採択》

◆請願第13号 《採択》
米の需給・価格安定に向けた水田農業政策の実現に関する請願
請願者 北信州みゆき農業協同組合
代表理事組合長 櫻沢和美他1名

◆請願第14号 《採択》

◆請願第14号 《採択》
農業・農協改革に関する請願
請願者 北信州みゆき農業協同組合
代表理事組合長 櫻沢和美他1名

意見書

◆意見書第4号 《可決》

◆意見書第4号 《可決》
集団的自衛権の行使容認に関し、慎重な議論を求める意見書

◆意見書第5号 《可決》

◆意見書第5号 《可決》
手話言語法等の制定に関する意見書

◆意見書第6号 《可決》

◆意見書第6号 《可決》
米の需給・価格安定と農業経営の安定に向けた水田農業政策の実現に関する意見書

◆意見書第7号 《可決》

◆意見書第7号 《可決》
農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書

編集後記

この9月定例会は1期4年の任期最後の議会となります。各議員コーナーは、広報誌の貴重なひと枘をいただき、一般質問結果を650字程度にまとめ掲載させていただきました。小さな記事ですが、任期4年間で16回の定例会、トータル1万4000字、原稿用紙26枚分を載せていただいたことになりました。毎回ご愛読いただきまして大変ありがとうございます。ありがとうございました。

議会だよりの翌月発行は今回で2回目となります。従来は議会終了後に取り掛かる記事編集も開会中に始めなければなりません。小さな議会改革の一つですが正直忙しくなりました。しかしタイムリーな情報提供は市民の皆様への責任であることとしっかり自覚し頑張っております。12月からは新しい委員構成になります。ありがとうございます。ありがとうございました。

議会だより編集委員会

委員長 望月 弘幸
副委員長 高山 恒夫
委員 水野 晴光
西條 豊致
水野 英夫
小林喜美治
久保田幸治



現飯山駅の鐘楼

で学習する必要があると思うが。
【答弁】財産であり、大事にしてふるさと教育で学習していく。
【質問】現飯山駅の鐘楼の移転後の活用について朝日新聞東京版に掲載された。小京都飯山寺町、飯山七福の鐘、七日おとずれば七つの願いがかなう。観光客にも人気の鐘がどこへいくのか。
【答弁】全国で唯一、ホームにある鐘設置場所は協議中であり、寺の町飯山にふさわしい鐘楼にする。